

# (仮称)府中市クリーンセンター(ごみ中継施設)施設整備基本計画(概要版)

## 1 本計画策定の目的等

現在、府中市(以下、「本市」という。)では、可燃ごみ及び可燃性粗大ごみを府中市クリーンセンターのごみ固形燃料化施設で処理しているが、福山リサイクル発電事業の終了に伴い、ごみ固形燃料化施設は令和6年3月末で処理を終了する予定である。

令和6年4月以降は、福山市が整備する次期ごみ処理施設において、可燃ごみ、可燃性粗大ごみの破砕物及び現在整備中の(仮称)府中市環境センターで発生する助燃剤の処理を行う予定である。可燃ごみ及び可燃性粗大ごみの破砕物については、令和元年7月に本市と福山市の間で締結した「府中市内から発生する一般廃棄物の処理に関する基本協定書」において、大型車に積み替えた上で搬入するとされていることや、資源ごみ等を引き続き受け入れ、処理または一時仮置きすることなどの理由から、今後、中継施設及びストックヤード(以下、「中継施設等」という。)の整備が必要な状況である。

本計画では、中継施設等の整備に向け、施設整備基本方針、計画諸元、処理方式等を検討するとともに、主要設備や概算事業費等も整理し、施設整備基本計画書としてとりまとめた。

## 2 施設整備基本方針等

- 1 安全・安心で安定した稼働ができる施設
- 2 環境保全に配慮した施設
- 3 資源の有効活用を積極的に推進する施設
- 4 地域に貢献し、親しまれる施設
- 5 経済性に優れた施設

## 3 基本項目

### ●稼働開始年度

令和7年度

### ●中継施設

可燃ごみ及び可燃性粗大ごみの積み替え等を行う施設

※処理対象物 ①可燃ごみ(家庭系収集、家庭系持込、事業系)

②可燃性粗大ごみ(家庭系持込)

計画処理量	可燃ごみ : 7,457t/年 可燃性粗大ごみ : 44t/年
施設規模	可燃ごみ : 30t/日 可燃性粗大ごみ : 0.3t/日

### ●ストックヤード

資源ごみ等の保管を行う施設

※処理対象物 ①破砕できない可燃性粗大ごみ

②不燃性粗大ごみ

「資源ごみ及び乾電池」「ペットボトル」「埋立ごみ」「容器包装プラスチック」については、引っ越しや家の片付け等、一時多量に発生した場合において受け入れる。

面積	資源ごみ等の保管が可能な面積
----	----------------

## ●中継施設等の整備方針

	パターン①	パターン②	パターン③	パターン④	パターン⑤
整備方法	新設	新設	新設	ごみ固形燃料化施設の建屋利用	ごみ固形燃料化施設の建屋利用
系列数	1系列	2系列	1系列	1系列	1系列
受入	ホッパ	ホッパ	ピット	ピット	ピット
施設規模	49 t/日	49 t/日	30 t/日	30 t/日	30 t/日
中継方式	コンパクタ・コンテナ方式 +密閉式コンテナ車	貯留排出機方式 +パッカー車	貯留排出機方式 +パッカー車	コンパクタ・コンテナ方式 +密閉式コンテナ車	貯留排出機方式 +パッカー車
中継方式のイメージ図					
経済性	5番目に安価	3番目に安価	2番目に安価	4番目に安価	1番目に安価
施設配置・動線計画	△ (敷地面積が限られている)	△ (敷地面積が限られている)	△ (敷地面積が限られている)	○	○
災害等への対応可否	△ (受入がホッパのため災害時等ごみの一時的な増加への対応が困難)	△ (受入がホッパのため災害時等ごみの一時的な増加への対応が困難)	○ (受入がピットのため災害時等ごみの一時的な増加への対応が可能)	◎ (受入がピットのため災害時等ごみの一時的な増加への対応が可能、敷地が広く使えるため災害廃棄物の受入・仮置き等も可能)	◎ (受入がピットのため災害時等ごみの一時的な増加への対応が可能、敷地が広く使えるため災害廃棄物の受入・仮置き等も可能)
総合評価					○

総合評価を行い、全ての評価項目で優れているパターン⑤を採用

## 4 公害防止計画

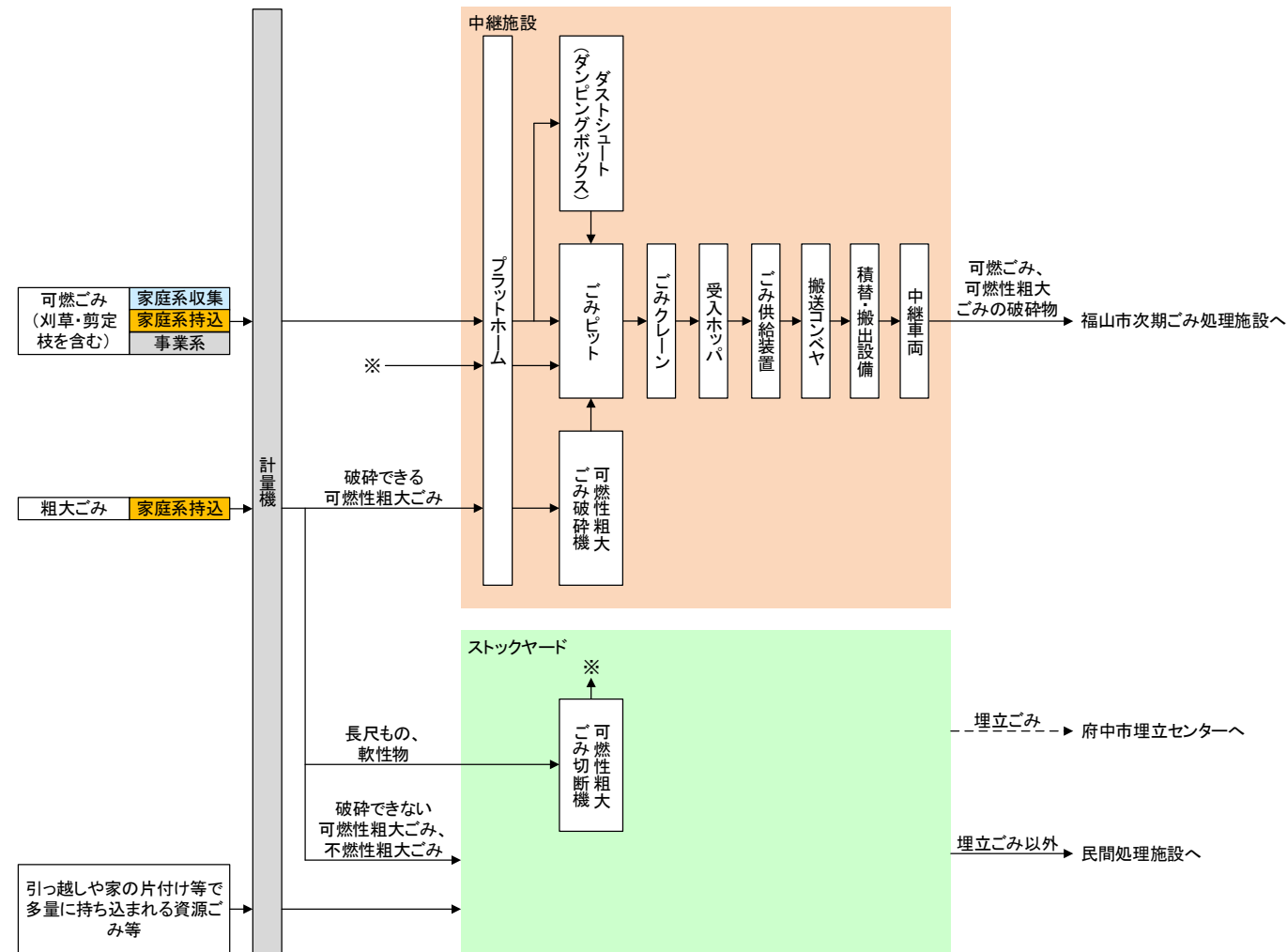
	公害防止基準値	備考
騒音	敷地境界線上において 昼間(7:00~19:00): 60dB以下 <sup>注)</sup> 夜間(19:00~7:00): 50dB以下 <sup>注)</sup> 注) 60dB: 静かな乗用車、普通の会話 50dB: 静かな事務所	ごみ固形燃料化施設の自主基準値と同値
振動	敷地境界線上において 昼間(7:00~19:00): 65dB以下 <sup>注)</sup> 夜間(19:00~7:00): 60dB以下 <sup>注)</sup> 注) 55~65dB: 屋内にいる人の一部がわずかな揺れを感じる。	
悪臭	敷地境界線上において 臭気指数: 10以下 <sup>注)</sup> 注) 0: 郊外の綺麗な空気 5: 工場地域の空気 10: 梅の花	
排水	放流先である鵜飼工業団地汚水処理施設の基準値	

## 5 残渣処理計画

中継施設等において発生する陶器・ガラス等は、ストックヤードで保管後、府中市埋立センターに埋立処分する。

## 6 施設計画

### 中継施設等の全体処理フロー(案)



注) 可燃性粗大ごみ切断機を設置するか否かは、工事発注段階までに決定する。

## 7 施工計画

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
府中市	可燃ごみ	ごみ固形燃料化施設	→	→	→	→
		仮設中継施設 (ストックヤード)		→	→	→
		中継施設			→	→
府中市	破砕できる可燃性粗大ごみ	ごみ固形燃料化施設の可燃性粗大ごみ破砕機	→	→	→	→
	破砕できない可燃性粗大ごみ、長尺もの、軟性物、不燃性粗大ごみ、資源ごみ等	ごみ固形燃料化施設のプラットフォーム内保管スペース	→	→	→	→
		屋外ヤード	→	→	→	→
	粗大ごみ貯留棟	→	→	→	→	
	ストックヤード		→	→	→	
福山リサイクル発電所		→	→	→	→	→
福山市次期ごみ処理施設			→	→	→	→

## 8 事業手法

### 事業手法の種類

民間関与	事業手法	資金調達	設計	建設	運営		施設所有		
					運転管理	維持管理・補修	建設時	運営時	事業終了時
低 ↓ 高	公設公営方式(業務委託も含む)	公共	公共	公共	公共	公共	公共	公共	公共
	公設民営方式	公設+長期包括委託方式	公共	公共	公共	民間	民間	公共	公共
		DBO方式	公共	民間	民間	民間	民間	公共	公共
	PFI方式	RO方式	民間	民間	民間	民間	民間	公共	公共
		BTO方式	民間	民間	民間	民間	民間	民間	公共
		BOT方式	民間	民間	民間	民間	民間	民間	公共
BOO方式		民間	民間	民間	民間	民間	民間	民間	

注) 発注段階においては、運転管理に運搬業務を含めることを想定している。

### 事業手法の検討

定量的評価 (VFMの算定) では、検討対象とした公設+長期包括委託方式、DBO方式及びRO方式の全ての方式において、VFMがマイナスとなることが確認されたことから、これらの事業手法の導入によって得られる財政的なメリットはないものと想定される。要因として、本検討において設立を前提条件とした特別目的会社 (SPC) の運営に係る費用が大きいことが挙げられる。

定性的評価では、各方式において公設公営方式に比べて劣っている点または優れている点を確認されており、公設公営方式が最も優れている。

以上より、本事業は、公設公営方式による実施が望ましい。

## 9 概算事業費及び発注方式

- 全体工事費
- 活用する交付金
- 発注方式

11.9 億円 (税抜き) 環境省の循環型社会形成推進交付金 総合評価落札方式(プロポーザル方式)

## 10 事業スケジュール

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
施設整備基本計画、事業手法検討	→					
測量、地質調査	→					
生活環境影響調査		→				
都市計画決定手続き		→	→			
発注仕様書作成		→				
事業者選定			→			
既存焼却施設の解体工事	→					
整備工事	ストックヤード (仮設中継施設)			→		
	中継施設				→	
施設稼働	ストックヤード (仮設中継施設)				→	
	中継施設、ストックヤード					→